

# LTI Resource Search

公開リソース

メンバーリソース

## 概要



Learning Tools Interoperability® (LTI®) Resource Searchは、デジタルリポジトリからリソースのセットを検索する方法を定義する新しい標準です。学習オブジェクト・リポジトリ (LOR)、および学習リソースの他のカタログへの検索は、学習ツールから、リソースのさまざまな属性を使用して、リソースの完全なメタデータを学習ツールに返す仕組みです。結果は、URLまたはLTIリンクのどちらかから起動することができます。(そのような学習管理システムなど)の学習ツールを使用する、教育者や学生のための利点は、リソースライブラリから適切なリソースを検索し、それらのリソースのトランスペアレントモードでの起動をシームレスに行えるからです。

Resource Searchは、以下のフレームワークを提供します。

- 学習ツール (サーチコンシューマ) は、学習リポジトリ (サーチプロバイダ) を照会します
- 学習リポジトリは、各学習リソースに関するメタデータを返します
- 検索結果に含まれる特定の定義されたメタデータ



学習オブジェクトを検索するためのキーワードを使用すると、検索結果に、以下の情報を提供します：

- Name
- 説明
- URLまたはLTIリンクを介して学習オブジェクトへのリンク
- 関連性の評価
- メタデータ (これらのフィールドは、標準内で定義されており、そのリソースタイプ、リソースの所有者、教育オーディエンス、そして言語に限定されません。)

## 公開リソース

- [Resource Searchの概要](#)
- [Real-World Scenarios \(実世界のシナリオ\)](#)
- [LTI Resource Search 1.0 Specification Documents \(仕様書\)](#)
  - [LTI Resource Search 1.0 Certification Guide \(認証ガイド\)](#)
  - [LTI Resource Search 1.0 Errata \(正誤表\)](#)
  - [LTI Resource Search 1.0 Implementation Guide \(実装ガイド\)](#)
  - [LTI Resource Search 1.0 Information Model \(情報モデル\)](#)
  - [LTI Resource Search 1.0 OpenAPI Definition \(OpenAPI 定義\)](#)
  - [LTI Resource Search 1.0 REST/JSON Binding \(REST/JSONバインディング\)](#)
  - [LTI Resource Search 1.0 OpenAPI YAML version \(OpenAPI YAML形式バージョン\)](#)
- **NEW** [クイックリファレンスガイド: Resource Search メタデータ](#)

## サプライヤー

- [あなたの製品がIMSの適合認証を取得する方法](#)
- [なぜLTI Resource Searchですか? \(ビデオプレゼンテーション\)](#)  
OpenEd/ACTNextのシニアディレクターのAdam BlumのACTテックトークでは、どうしてサプライヤーがLTI Resource Searchの実装を検討しなければならないか、またこの新しい標準には何が含まれているのかを説明しています。
- [LTI Resource Search - Technical Congress \(技術会議\) 2018年8月アップデート](#)

## 教育機関

- [教育者のための LTI Resource Search \(プレゼンテーション\)](#)  
このプレゼンテーションでは、IMS Globalの最新標準の一つ、Resource Searchの概要を説明しま

す。このプレゼンテーションでは、標準の基本的な機能の学習と、それが教育機関にいかにより利益をもたらすことができるかを説明しています。

- LTI Resource Searchを使って、「[Search-Organize-Deliver \(検索-整理-配信\)](#)」を行います (ビデオデモ)  
2018年の会議から、この短い14分間のプレゼンテーションとデモでは、Knovation社の最高技術責任者 (CTO) のVikash Jaiswalが、Knovation社と他の早期導入者であるSAFARI Montage、SchoolCityとACTのOpenEd Repositoryとの間で、この次期IMS標準の実装のデモをしています。
- 「[Finding and Delivering the Right Resource \(正しいリソースを見つけて、配信する\)](#)」 (ビデオデモ)  
2018年の会議から、この短い6分のプレゼンテーションやデモでは、SchoolCity社の製品戦略役員 のPepper Williams博士が、KnovationとACTのOpenEd Repositoryと統合したSchoolCityの個々人向けの課題見直しツールにLTIリソース検索を実装したデモをしています。
- [Resource SearchのチェックリストとRFP用語](#)  
このガイドでは、IMS Globalの最新標準の一つであるResource SearchのIMS Globalの適合認証を取得していることを必要要件にするための、特定の用語を提供します。

## メンバーリソース

### 開発者コミュニティのリソース

- [Resource Search Github コミュニティ](#) (メンバーログインが必要)
- [LTI Resource Search Service \(バージョン1.0\) OpenAPI 定義](#)
- [その他のリソース](#)

---

This page contains trademarks of the IMS Global Learning Consortium including the IMS Logos, Learning Tools Interoperability® (LTI®), Accessible Portable Item Protocol® (APIP®), Question and Test Interoperability® (QTI®), Common Cartridge® (CC®), AccessForAll™, OneRoster®, Caliper Analytics®, SensorAPI™ and Competencies and Academic Standards Exchange® (CASE®). For more information on the IMS trademark usage policy see [trademark policy page](#)

